



「^{うち}家のみんなで^{ほん}本を^よ読む」=家読

たとえば…

- みんなで同じ本を読んで、感想を話してみる
- それぞれが最近読んだ本の紹介をする
- 絵本の読み聞かせや本の朗読をする

やり方はいろいろです

この本おもしろい！という気持ちを家族でシェアしませんか
本をきっかけに おしゃべりしましょう♪



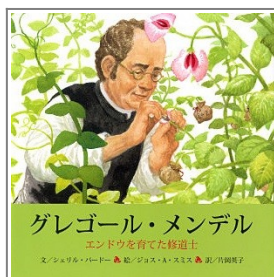
～ 伝記の本 ～

歴史上有名な人物たちは、どうしてその道に進むことを選んだのでしょうか。また、夢をかなえるために、どのような努力や経験をしたのでしょうか。ぜひ、伝記を読んでみてください。最初は絵本やマンガでえがかれた伝記がおすすめです。自分の夢を見つける参考にもなるかもしれません。



『野口英世』

早野 美智代 // 文
脚 次郎 // 絵
野口英世記念会 // 監修
学研プラス



『グレゴール・メンデル ～エンドウを育てた修道士～』

シェリル・バードー // 文
ジョス・A・スミス // 絵
片岡 英子 // 訳
BL 出版

小さいころに負ったやけどで、左手が不自由になった英世。しかし、人並み外れた努力で困難を乗り越え、やがて世界に名を知られる研究者となります。「病気で苦しむ人を救いたい」と強く願い、細菌の研究に一生をささげた野口英世の物語です。

「どのような仕組みで、子どもは父親や母親の特徴を受けつぐのだろうか」。子どもころから不思議に思っていたメンデルは、エンドウを育てて実験することで、ある法則に気が付きました。遺伝の法則を発見したメンデルをえがいたお話です。

『渋沢栄一』 加来 耕三 // 企画・構成・監修 後藤 ひろみ // 原作 中島 健志 // 作画 ポプラ社
渋沢栄一は江戸時代末期、武蔵国の豊かな農家の長男として生まれました。やがて一橋家の家臣となり、慶喜の弟にしたがってヨーロッパへ渡るといふ経験をした栄一は、明治時代になると数多くの近代企業をつくり、発展させました。2024年から発行される新一万円札の顔にも選ばれた実業家です。

『ワンガリ・マータイさんとケニアの木々』

ドナ・ジョー・ナポリ // 作 カディール・ネルソン // 絵 千葉 茂樹 // 訳 鈴木出版
アフリカ人女性として初めてノーベル賞を受賞した、ワンガリ・マータイ。ケニアの農家に生まれた彼女は、平和のために各地へ苗木を植える活動を行いました。日本語の「モッタイナイ」という言葉に深く感動し、その精神を世界中に広めたことでも有名です。

『サリバン先生とヘレン ふたりの奇跡の4か月』

デボラ・ホプキンソン // 文 ラウル・コローン // 絵 こだま ともこ // 訳 光村教育図書
病気のため、2歳になる前に視力を失い、耳も聞こえなくなってしまうヘレン。彼女を導いたのは、家庭教師のサリバン先生でした。世界各地を回り、障がいを持つ人々の教育と発展に力をつくしたヘレン・ケラーと、サリバン先生のきずなの始まりの物語です。